

レポート

10月17日 熊本県嘉島町
18日 福岡県大刀洗町

研修テーマ

- 10月17日 熊本県上益城郡嘉島町(くまもとけん かみましきぐん かしままち)
○地震被災地の復旧状況および防災の取り組みについて
- 10月18日 福岡県三井郡大刀洗町(ふくおかけん みいぐん たちあらいまち)
○議会改革・議会の活性化および防災の取り組みについて

熊本県嘉島町

鈴木康祐

コロナ禍で見送られていた行政視察でしたが、再開後の最初の目的地は、熊本県嘉島町としました。熊本地震が平成28年4月に発生し、その年の9月に、震災後の状況の視察先として受け入れていただいたのが嘉島町でした。

当時は、まだ至る所に震災の爪痕を見ることができましたが、今回の視察では、その片鱗もありませんでした。

役場で「嘉島町復興計画」の話を行いました。「復旧」とは、震災前の姿に戻すことであり、一方「復興」とは、これまで以上に良い状況にするという考え方を基本に、施策・事業の位置付けを行うこと、との説明を受けました。

その結果、人口は、令和4年4月9867人が、同年10月には1万26人となり、世帯数は、3898世帯が4019世帯になりました。企業誘致も、震災後には12社進出・2社進出協定済みということ、飛鳥村では考えられないほどの復興ぶりでした。

熊本地震という大災害を乗り越えた嘉島町の人たちの英知は素晴らしいものでした。



復旧状況等について話を伺いました



崩落した状態の石垣



復旧後の熊本城天守閣

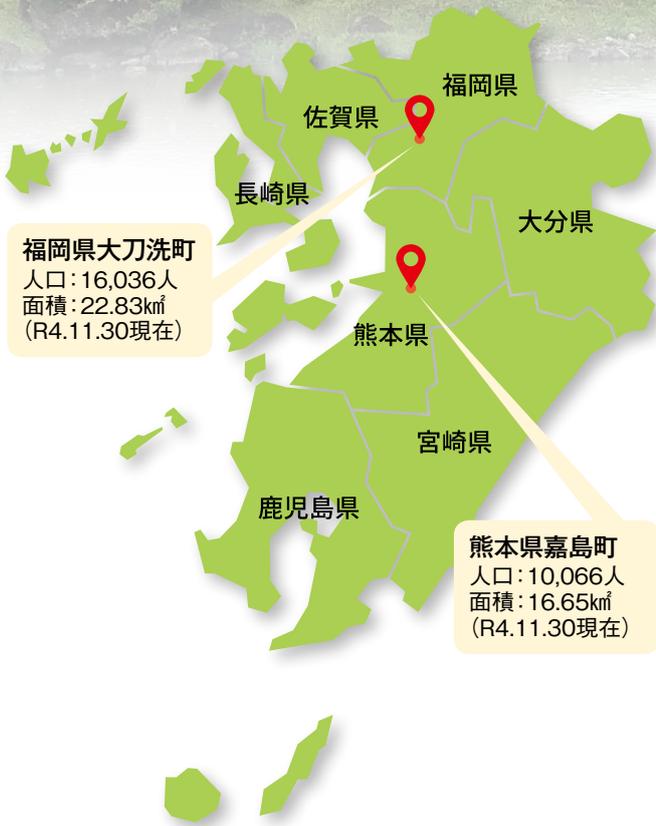
議員行政視察



福岡県大刀洗町

上田光彦

古く南北朝時代に町名の由来を持つ大刀洗町は、福岡県の南部を東西に流れる九州最大の大河筑後川の北岸に面しており、その支流も多いことから、大雨による災害（洪水・冠水）が平成24年から6回と、多く発生しています。



議会改革・議会の活性化、防災の取り組みについて話を伺いました

大刀洗町はその経験から、関係機関（消防署・消防団・警察・自衛隊等）と合同で防災訓練を実施している、との説明に、飛鳥村も予想される大災害に備えて、より実践的な防災訓練の必要性を強く感じました。

また、大刀洗町議会では、議会広報誌（議会だより）の作成に優れた成果を挙げられており、全国での評価も常に上位に

ランクインされ、本町の議会だよりの編集においても、目標としています。飛鳥村議会の情報を、より読みやすく公正で正確に、皆さまにお伝えできる紙面作りを目指してまいります。



大刀洗町議会議場にて